



県がすすめている取り組みを紹介します！

## 地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」

少子化や核家族化が進み地域社会のつながりが薄れる中、高齢者、障害のある方、子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立してしまい、必要な支援を受けられないケースがあります。また、相次ぐ自然災害に備えるためにも、日頃から住民が互いに支えあうまちづくりが一層重要となっています。そのような中、民生委員・児童委員の皆さんは地域の身近な相談相手として、さまざまな活動を行っています。

### 民生委員・児童委員とは？

- 非常勤の地方公務員(厚生労働大臣から委嘱)
- 任期3年(再任可)、次回改選は令和4年12月
- 市町や県の推薦などを経て選任

困っている人を行政に「つなぐ」役割も担っているのね



### どんな活動をしているの？

#### 訪問活動

高齢者や子育て家庭など、地域住民を訪問し、見守りや相談、支援を行っています。



訪問活動の様子

#### 子どもの見守り・支援

子どもたちの登下校時、通学路に立って、見守りやあいさつ運動をしています。



登下校中の子どもたちに声かけ

#### 防災・防犯活動

消防団や自主防災組織などと協力し、危険箇所の点検や、災害時に支援が必要な人の把握などに協力しています。また、地域の防犯活動も行っています。



防災に関する連絡会議

#### ふれあいサロン活動

子育て世帯や高齢者などの孤立を防ぐため、地域の方が集い、仲間をつくることのできる居場所づくりをしています。



親子とおまんじゅう作り体験

※現在は、新型コロナ対策を十分に行った上で、活動しています

地域の民生委員・児童委員について知りたい方は、お住まいの市町へお問い合わせください。

問合せ 県の福祉保健課 ☎095-895-2416 民生委員児童委員 検索



## 島原ドック協業組合

(島原市)



お話を伺ったのは  
代表理事  
なかむらみつのが  
中村光伸さん

### 船の修繕・検査で九州トップクラス

1972年、大型船の受注を目的に、島原半島の小規模な造船会社10社が集まって設立したのが当組合のはじまりです。島原市湊町の本社と、長崎市戸町の長崎工場の2拠点で、九州・沖縄のフェリーや旅客船、水産系高校や大学の練習船など各種船舶の法定検査や修理、整備を行なっています。また、造船業界では外注作業が多いですが、当社では、全ての作業を自社の従業員が施工することで、高い品質を保持しています。



機能性に優れたフローティングドック

### 特徴は100m級のフローティングドック

今年度は本社と長崎工場それぞれに100m級のフローティングドック(浮きドック)を新造および大修理し、作業効率が向上したことで、今まで以上に短期間で作業を行うことができるようになりました。現在は、県内のジェットフォイル、フェリーや高速船など、年間100隻を超える船の点検・修理も行っていきます。



各種講習会などにも積極的に参加し、船用機関整備士や溶接の資格を持つ技術者が多数在籍



県内で頑張っている企業や人にエール(応援)を送ります！

### 安全第一で信用される企業を目指す

社員は本社と長崎工場を合わせて73名で、地元採用者が多く、全くの初心者も入社可能です。当社は明るい雰囲気でも人材育成にも力を入れ、収益が出たら賞与などに反映し、積極的な有給休暇の取得を促進するなど、働きやすい環境づくりにも務めています。

造船は、日本経済のライフラインである海運・物流を支える仕事です。今後も安全第一で、お客様の要望を満ちし、信頼される企業を目指してまい進します。



主エンジン部分修繕の作業風景

日本経済のライフラインである海運・物流を支える造船業は誇りとやりがいのある仕事です。

